

トーマス・リヴァース・ブラウンと妻マリーが魅了されたソノマ・コースト・エレガント・ピノ・ノワールと真骨頂のナパ・カベルネ

今最も脚光を浴びるワインメーカー「トーマス・リヴァース・ブラウン」(現在15社近くのワインメーカーを務める、代表はシュレーダー、ハンドレッド・エーカー、アウト・ポストなど、カベルネ・ソーヴィニオン主体のワインでパーカー、ワインスペクテーターの高得点を叩きだすスター・ワインメーカーが、妻ジュヌヴィエーヴ・マリー・ウェルシュと自分の名前を冠して造るのは「ピノ・ノワールとシャルドネ」。それもソノマ・コーストに特化し、秀逸な畑数か所からの葡萄を用いてシングル・ヴィンヤードと、その畑の特徴を生かしたブレンド・ピノ・ノワールを2002年から造り始めた。その生産量の少なさから(1,300~2,000ケース)、メーリング・リストのみ(4,000人以上が待つ)で販売されていたが、ついに正規輸入として取り扱うことが叶いました。現在は幾多のワイナリーで100Pをたたき出した真骨頂のナパ・カベルネもラインアップします。



限定品

商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	<b>Pinot Noir Sonoma Coast</b> ピノ・ノワール ソノマ・コースト	Sonoma Coast	赤	2021	750	¥7,000	vinous 94P シングル・ヴィンヤードより高得点
ソノマ・コーストのピノ・ノワールらしい魅力溢れる赤系果実とフレッシュな酸が惹き立ち、一本のボトルを二人で楽しんで飲み干せるようなバランスに仕上げる。毎年畑の割合は異なるが、そのVTGの特徴を良く表したワインとなる。2021年はオキシデンタル地区のジョイ・ロード、スーマ、オキシデンタル・リッジ、少量のペアワロー(アンダーソン・ヴァレー)のブレンドとなった。心地良い凝縮感、フレッシュな酸と、青、赤、黒系のペリーが華やかにミックス。							
	<b>Cabernet Sauvignon Napa Valley</b> カベルネ・ソーヴィニオン ナパ・ヴァレー	Napa Valley	赤	2021	750	¥18,000	
100%カベルネ・ソーヴィニオン。仏産樽熟成約15か月(新樽率50%)2021VTGはAVAオークヴィルと言える。オークヴィル東丘陵にあるブゼリ・ヴィンヤードとオークヴィル・テラスの畑から、10%だけセント・ヘレナのバネクをブレンド。今までのナパカベ造りの経験を集約した完成形ともいえる出来栄。シングル・ヴィンヤードでないナパ・ヴァレーはどうあるべきかと吟味している。果実味、タンニン、酸が同等に高め合い、途切れ目無いめらかな球体を堪能できる。							
	<b>Cabernet Sauvignon Calistoga</b> カベルネ・ソーヴィニオン カリストガ	Calistoga, Napa Valley	赤	2021	750	¥20,000	
100%カベルネ・ソーヴィニオン。仏産樽熟成約18か月(新樽70%)カリストガの南ラーク・ミッド・エステートの一区画にあるアイズリー・クローン/1970年代に最高のカベルネ・ソーヴィニオンを生み出す畑として認知されると、隣の区画のジェンキン・クローンをブレンド。今まではシングル・ヴィンヤードだったが、2021年はカリストガのスウィッチバック・リッジ・ヴィンヤードの古樹のクローンと、更にアイズリー・ヴィンヤードの隣に位置するケリー・フレミングのクローン337をブレンド。まさにカリストガの特徴を表現するワインとなった。色濃く紫色を帯び、赤系果実、クレーム・ド・カシス、小石がちらばる土壌を反映して石っぽい風味、クロブやナツメグなどが満載。口あたりは柔らかく、濃厚なだけでなく複雑味とエレガンスを持つワインに仕上がった。							
	<b>Cabernet Sauvignon Panek Vineyard</b> カベルネ・ソーヴィニオン パネク・ヴィンヤード	Napa Valley	赤	2021	750	¥25,000	
100%カベルネ・ソーヴィニオン。仏産樽熟成約18か月(新樽75%)パネクの位置はセント・ヘレナの北部、国道29号線より少し東。気温は南部よりやや高く、糖度があがるだけではなく、じっくりと全ての要素が完熟する。2021年の様なタンニンがしっかりとしたヴィンテージには、酸がエレガントに存在するパネクの特徴が良く表れる。タンニンと共に味わいには複雑な要素が含まれぬし皮、たばこ、黒コショウ、濡れた石、焦がしたブラウン・シュガー、メイプルシロップのニュアンスが混ざり合う。凝縮した果実と細かく砕かれたようなタンニンが一口目からパワフルで長い余韻。パネクの特徴が良く表現されている。							

RIVERS-MARIE



リヴァース・マリー



今最も脚光を浴びる「トーマス・リヴァース・ブラウン」は、現在15社近くのワインメーカーを務め、代表はシュレーダー、ダブル・ダイヤモンド、アストン、ボアズ・ヴュー、ブリド・ウォーカー(弊社取扱)、アウト・ポスト、マイ・パッサ、ブラック・シアーズ、ジョーンズ・ファミリー、キアレロ、ハリス、ホーベル、ヘスタン、シーヴァー、カーサ・ビエナ、レヴァーナ、ヴォリス、センシーズなど。カベルネ・ソーヴィニオン主体のワインでパーカー、ワインスペクテーターの高得点を叩きだしています。そのトーマスが、妻ジュヌヴィエーヴ・マリー・ウェルシュと自分たちのミドルネームを冠した「リヴァース・マリー」を設立、秀逸な畑からの葡萄を用いてシングル・ヴィンヤードと、その畑の特徴を生かしたブレンド・ワインを2002年から造り始めました。シャルドネとピノ・ノワールはソノマ・コーストのオキシデンタル地区に特化し(ピノ・ノワールは自社管理畑・スーマを持ちます)、カベルネ・ソーヴィニオンはナパ・ヴァレーの特徴ある各地の畑を使います。日本へは、2013年当時その生産量の少なさから(1,300~2,500ケース)、メーリング・リストのみ(4,000人以上が待つ)で販売されていたが、2011VTGより正規輸入元(弊社)を通して少量のみ入り始め、現在は毎年限定アイテム、限定数が揃います。

～ソノマ・コースト「オキシデンタル」～



リヴァース・マリーのシャルドネ、ピノ・ノワールとして注目するのは、寒流流れる海とを隔てる海岸丘陵の中にある「オキシデンタル地区」。(ラシアン・リヴァー・ヴァレー/グリーン・ヴァレーの西) 海からの霧の影響を受け涼しく、痩せた土地、海の堆積物が隆起した土壌、昼間の十分な日照など極上のピノ・ノワールに適したテロワールを有する。トーマス・リヴァース・ブラウン曰く「ワインは自然の産物」。毎年畑と生産量は変化に富む。キャリアを始めたターリー時代からの友人・栽培家のスコット&ジョアン・ツェラー夫妻とのコネクションにより、今までに下記の畑でワインを造っています。スーマ(自社畑)、オキシデンタル・リッジ、ウィロー・クリーク、シルバー・イーグル、リドル・ランチ、ランセル・クリーク、ジオア、カンツラー、ティエリオ、ジョイ・ロード、プラット、ペアワローなど。

～ピノ・ノワールの醸造に関して～

手摘みされた葡萄を除梗し(一部とても良い房だけ梗を残しておく)、コールド・ソーク(低温浸潤)を約7日間10℃で行う(表面が乾かないように注意)。5日目に冷却装置を止め、自然に温度の上昇を待つ。7~8日目には醗酵が始まり、自然のまま醗酵を待つ。(涼しい年は3日で終わってしまうことも、10日間続くこともある。)フーランジュースとプレスジュースを一晩寝かせてから、樽に移し(新樽率はキュヴェにより異なるが比較的少ない)、マロラクティック醗酵は大体10か月位で終わる。澱を自然に落とした時点で初めてSO2を少量入れる。初夏にブレンドを決め、次のヴィンテージの収穫前に瓶詰。(ノン・フィルター、人工的な濾引きはしない。)約半年休ませ、年が明けてから春頃にリリースする。



**2021 ヴィンテージコメント**：ワイン造りをほとんど全て諦めなければならなかった2020年に比べると、2021年は今までの平年に戻った感がある。温かい春から始まり数度の熱波もあったが、小粒の房が仕上がりに、過熱にならないレベルでの収穫のタイミングを辛抱強く待つことができた。2020年を思うと収量を多く取りたいと思いがちであったが、そこは最高品質のレベルを見極めた収量調整を行い、完璧な葡萄を収穫出来た。いくつかの新しいプログラムによる畑が加わっている。

ピノ・ノワール ソノマ・コースト  
**2021 Pinot Noir Sonoma Coast**

希望小売価格 7,000 円 (税別)



ソノマ・コーストらしく、ピノ・ノワールらしく、リヴァース・マリーらしい、ピュアな魅力溢れるワイン。華やかな赤い花、赤系ベリー、スパイス (クローブ、ミントなど)、芳ばしいパンを焼きあげた香りに、フレッシュな酸が惹き立ち、一本のボトルを二人で楽しんで飲み干せるようなバランスに仕上げる。毎年畑の割合は異なるが、その VTG の特徴を良く表したワインとなる。

**2021 年の畑**：2019 年はオキシデンタルより北にあるリドル・ランチの葡萄のみで造られたが、2021 年はオキシデンタル地区にあるいくつかの畑のブレンドとなり、オキシデンタル地区の個性を見事に表している。メインはオキシデンタルの町より海に近いジョイ・ロードの畑。スーマ、オキシデンタル・リッジが少量加わり、アンダーソン・ヴァレーのペアワローがアクセントを加味。クローン：マウント・エデンはやや早めに収穫しエレガントで薫り高くフィネスをワインに与える。828 は赤・黒系ベリーの特徴が良く出て味わいの中心になっている。ポマール・クローンはワインの骨格を形成し長い余韻をもたらす。

**2021 年の味わいコメント**：2021 年は、明るい色調、フレッシュな酸を感じさせる赤系の果実ザクロ、ブラックチェリー、プラムの風味が特徴的。華やかな香りはハーブ、スモーク、土や春の花のニュアンスがあり、果実味とのバランスが秀逸。心地よいタンニンがあり、このワインは新樽率が低いので、樽の影響よりも果実の個性が大きい。

生産量：1,200 ケース VINOUS 94P Jan. 2023 by Antonio Galloni 2021V ピノ・ノワールの中でも高得点をつけ絶賛。

*Rivers-Marie*



リヴァース・マリー

屈指のワインメーカー「トーマス・リヴァース・ブラウンと妻マリー」が自身の名を冠して造る高次元でまとめ上げられた・こだわりのナパ・ヴァレー・カベルネ・ソーヴィニヨン



「Napa's Top Gun "The Midas Touch" / 触ったものを黄金に変えるナパのトップ・ガン」

とワイン・スペクテーター誌(Nov.2018)で称され、今最も脚光を浴びるワインメーカー「トーマス・リヴァース・ブラウン」は、数年前に比べると倍増した約 45 社のワインメーカー&コンサルタントを務める。代表はシュレーダー、アウト・ポスト、ブリド〜ウォーカー、シブミ・ロール、カーター・ワウル、ザ・グレード (以上弊社取扱い)、マイ・パッパ、カーサ・ピエナ、フェラーリ・カラーノ、ブラック・シアーズ、ジョーンズ・ファミリー、キアレロ、ハリス、ホーベル、クラーク・クラウド、ウォレス、センス、ラウンド・ポンド、キンセラ、メンディング・ウォール、ポスト・パレードなど。

カベルネ・ソーヴィニヨン主体のワインでパーカー、ワインスペクテーターの高得点を叩きだすスター・ワインメーカーが、妻ジュヌヴィエーヴ・マリー・ウェルシュと自分の名前を冠して造るのが自身のブランド「リヴァース・マリー」。

ピノ・ノワール、シャルドネはソノマ・コーストのオキシデンタル地区を中心とし、近年は最高級の葡萄のオファーが入りアンダーソン・ヴァレーからも造る (Rhys の自社畑)。そして最も得意とするカベルネ・ソーヴィニヨンも「リヴァース・マリー」のブランドで少量のみ造り、高い評価を獲得している。クライアントと自身のワインの差を尋ねると「オーナーの意向なくテロワールを表現すること。自分の造りたい畑をセレクトすること。」と自身のブランドへのこだわりを表明。

**Napa Valley**

世界でも有数のカベルネ・ソーヴィニヨンの聖地ナパ・ヴァレーは、南北約 40km、東西約 8km の非常に狭い地域の中に 100 種類近くの様々な土壌が存在し、地理的位置や標高により、様々な斜面に畑があり、その向きにより日光のあたり具合、日照時間が細かく違ってきます。またナパ・ヴァレー特有の、冷たいサン・パブロ湾から入ってくる霧や風の影響により、南の地区は涼しく、ヴァレーの奥の北の地区は暖かくなるなど、多種多様なミクロ気候 (微気候)、テロワールが存在し、個性の違った葡萄が作られます。またそれぞれのヴィンヤード・マネージメントによっても大きな違いが生み出されます。

**Rivers-Marie's Cabernet Sauvignon Grape Source Vineyards**

テロワールを熟知したトーマス・ブラウンは、コンサルタントをする様々なワイナリーが契約する栽培農家との密接なコネクションにより自分のブランドに合った葡萄を選択。各ワイナリーの意向に沿うワインを造ってきた経験から、自らのワインは、高次元でテロワールを表現する為に、過度な抽出を行わず、葡萄が出したい味を、見事に舵取りをした仕上げは驚嘆に値する。

今までに葡萄を調達している畑 (ヴィンテージにより使用率、生産量が違います。)

セント・ヘレナ AVA : Panek/パネク、Pallet/パレット

カリスタガ AVA : Larkmead Estate/ラークミード、Kennedy/ケネディー

オークヴィル AVA : Oakville Terrace/オークヴィル・テラス、Corona/コロナ、

Buselli/ブセリ・ヴィンヤード など。

The Napa Valley Appellation and its  
**ナパ・ヴァレー Sub-Appellations**



カベルネ・ソーヴィニヨン ナパ・ヴァレー 希望小売価格  
**2021 Cabernet Sauvignon Napa Valley 18,000 円 (税別)**



100%カベルネ・ソーヴィニヨン。ナパ・ヴァレー各地に広がる個性ある畑をヴィンテージ毎に究極のブレンドを行う。  
2021年はオークヴィルの東斜面にある2つのA+クラスの畑がメインで、10%だけセント・ヘレナのパネク・ヴァインヤードがブレンドされているが、リヴァース・マリー カベルネ・ソーヴィニヨン オークヴィルとも言えるワインとなった。

1. **ブセリ・ヴィンヤード**：ラッドの道を挟んで東側斜面、黒系果実と砕けた岩のようなミネラル感と伸びやかさ。オークヴィル・テラスの南に隣接する 2019 年より栽培管理を任せられた畑。シングルにはまだできないが可能性が非常に高く、将来性が非常に高い畑である。
2. **オークヴィル・テラス**：銘醸地オークヴィル東斜面から、黒系ベリー・岩から起因する鉱物的なミネラル感、力強さ。以前はロア・ヴィンヤードと読んでいたが、オークヴィル・テラスと改名。オークヴィルの東斜面、北端の上部斜面に位置する。周りには綺羅星のように輝く銘醸畑がある。小粒で果汁の少ない葡萄から、濃厚でテロワールの持つ大きさを表現する葡萄が出来るよう最新の注意を払っている。パネクと同様シングル・ヴィンヤード・セレクト後、ナパ・ヴァレーにブレンド。特に畑の上下部分の区画が主にこのワインに使われている。
3. **パネク・ヴィンヤード**：セント・ヘレナのヴァレー・フロアから、濃厚な果実の凝縮感。セント・ヘレナの北部ターリー・ワイン・セラーズの北に位置する。クローン4を使用。ヴァレーの北のやや暖かい平地に位置し、完璧に熟す為濃厚なチョコやキャラメルのようなニュアンスが現れる。ジューシーな果実感がブレンドされる。

ミント、ユーカリ、ホワイトペッパー、リコリスが香り経ち、2021年ヴィンテージの特徴を表現。黒クルミ、カシス、杉の木、白い花、ドライハーブが味わいを支配し、力強く、甘やかなタンニンが心地良くフィニッシュを引き締める。  
それぞれのワイナリーのヴィンテージ毎の個性を見るには、そのワイナリーのトップのワインからでなく、スタンダードなワインを見てこそ個性が良く分かるとまさにこのワインが証明してくれる。仏産樽熟成約16ヵ月(新樽率50%)

株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161



カベルネ・ソーヴィニヨン カリストガ ナパ・ヴァレー  
**2021 Cabernet Sauvignon Calistoga Napa Valley**



希望小売価格 **20,000 円 (税別)**

100%カベルネ・ソーヴィニヨン。今までワイン名はカリストガAVAであっても、カリストガの南端にあるLarkmead/ラークミードのシングル・ヴィンヤードで造られてきた。2021年ヴィンテージは、ワイン名通りに、カリストガの他の畑もブレンドしている。

ラークミードの畑の中で使う区画の特筆すべき点は「01mo/オルモ・クローン=アイズリー・クローン」(1970年代に最高のカベルネ・ソーヴィニヨンを生み出す畑として認知されたアイズリー・ヴィンヤードのクローン)と隣の区画にあるジェンキン・クローン(コンサルするアウトポストやジェムストーンでも使い慣れている)がお互いの良い点・弱点を補い合いこの畑の特徴を明確に表現してくれる。

新しく加わったスイッチバック・リッジからは古樹のクローン7が、もう一つの畑は有名なアイズリー・ヴィンヤードの隣に位置するケリー・フレミングの畑のクローン337が加わった。

この4つの区画は別々に醸造され、テイスティングを繰り返した後、ブレンドされた。カリストガの由緒正しい畑からの血統が引き継がれ、この地区の個性を顕著に表すワインに仕上がっている。

ワインはベーキングスパイス(胡椒、ナツメグなど)、スマイル、赤系ベリーの香りが最初に現れ、より濃厚な青系ベリー、スパイスボックス、黒鉛、土のニュアンスが続く。前のVTGは常にトーンが高く、香り豊かな方向性が強かったが、2つの新しい畑のブレンドにより、以前の香りと味わいが湧き立つような要素を削ることなく、よりバランスよく、濃密な口当たりと凝縮した果実感を高めている。クローン:30,7,337,169 仏産樽熟成約18ヵ月(新樽率70%)  
生産量:468ケース/年 輸入・販売:株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161



カベルネ・ソーヴィニヨン パネク・ヴィンヤード ナパ・ヴァレー  
**2021 Cabernet Sauvignon Panek Vineyard Napa Valley**



希望小売価格 **25,000 円 (税別)**

100%カベルネ・ソーヴィニヨン。

2haのパネク・ヴィンヤードは、セント・ヘレナの北部、国道29号線より東に少しだけ入ったターリー・ワイン・セラーズの北に位置する。ヴァレーの北部、ヴァレー・フロアの畑であり、生育期の気温は南部よりやや高い。土壌は粘土と小石が混ざるナパ川が長い時間をかけて作ってきた古い川底の堆積土壌。小石が混じる為水はけは良い。葡萄は糖度があがるだけではなく、じっくりと全ての要素が完熟することが出来る。パネク・ヴィンヤードはトーマスがコンサルタントをするプリド〜ウォーカー(弊社取扱い)でも使用する。濃厚なチョコやキャラメルのようなニュアンスに、ブルーベリー、プラム、ブルーンの味わいが溢れ、濃厚で、フルーツのピュアさが壮大に表現されるのが特徴。

トーマス談: 2021年はパネクの全畑の中から選び抜いたブロックのクローン7と169を選択。

2021年ヴィンテージのような雨が少なく、温暖で、凝縮し小粒の葡萄が収穫できた年は、パネクの最高の表現ができる。果実味の充実と秀逸な酸味は言うに及ばず、力強い酒質と骨格のしっかりしたワインとなりセント・ヘレナで造られるワインの最も完成されたものになっている。このワインのタンニンは、特徴であるカラメリゼしたブラウンシュガーやメイプルシロップのニュアンスに加え、なめし皮、タバコの葉、ブラックペッパー、湿った石などが香り高く立ち上がる。パネクの畑の樹齢は20年に近づき、更にいくつかの区画は30年樹齢のものもある。この樹齢の高さがワインをよりシリアスで完成度の高いものに導びき、土壌独特のミネラル感や果実の凝縮感が他のワインとは一線を画す。チャコール・グリル、床ワックスのニュアンスや、紫系ベリーがフィニッシュに現れ、またこの個性的なワインを飲みたいと思わせる。特にそのバランスは、ワインを飲み始めてから最後の一滴まで続く、見事な均整を生み出している。仏産樽熟成約18ヵ月(新樽率75%)525ケース/年産 輸入・販売:株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161

